

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築製図Ⅰ				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	192	⑥ 単位数	12
⑦ 担当教員(代表)		安藤 修	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
各種の建築物の知識と図面表現を的確に学ぶ。 1. 用途別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。 2. 構造別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。						
⑬ 授業の概要						
建築設計に関連する諸科目の学習の基礎として各種用途の建物（住宅、事務所、集会場等）や各種構造の建物（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造等）をケント紙やトレーシングペーパーに、実務的表現に力点を置いた手法で描く。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	線・文字の練習1		17	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の立面図		
2	線・文字の練習2		18	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図1		
3	表示記号（平面表示記号、材料構造表示記号）のトレース		19	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図2		
4	専用住宅(木造2階建)の平面図		20	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の階段詳細図		
5	専用住宅(木造2階建)の断面図		21	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の伏図		
6	専用住宅(木造2階建)の立面図		22	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の軸組図		
7	専用住宅(木造2階建)の矩計図1		23	集会場(鉄骨造2階建)の平面図		
8	専用住宅(木造2階建)の矩計図2		24	集会場(鉄骨造2階建)の断面図		
9	専用住宅(木造2階建)の伏図		25	集会場(鉄骨造2階建)の立面図		
10	専用住宅(木造2階建)の軸組図		26	集会場(鉄骨造2階建)の矩計図1		
11	専用住宅(木造2階建)の平面詳細図1		27	集会場(鉄骨造2階建)の矩計図2		
12	専用住宅(木造2階建)の平面詳細図2		28	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）1		
13	専用住宅(木造2階建)の建具表		29	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）2		
14	専用住宅(木造2階建)の展開図		30	木造2階建専用住宅の設計図面（平面図）		
15	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の平面図		31	木造2階建専用住宅の設計図面（断面図）		
16	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の断面図		32	木造2階建専用住宅の設計図面（立面図）		
⑰ その他		教科書	超入門 建築製図		出版社：	市ヶ谷出版社
		教材	配布資料		著 者：	永井孝保 他
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030101

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築製図Ⅱ				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	222	⑥ 単位数	14
⑦ 担当教員(代表)		三ッ井 正和		⑧ 実務経験	設計実務経験者	
⑨ 授業形態		演習		⑩ 授業の実施方法	対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
1. クライアントの希望や設計条件を正確に把握できる能力を身につける。 2. 設計資料の収集の仕方や分析、また、設計時に必要な計画上の基礎知識を増やす。 3. 提案の趣旨を効果的にプレゼンテーションできる能力を磨く。						
⑬ 授業の概要						
木造の設計では住宅の平面・立面をはじめ、伏図・軸組等の構造図までを描く。木造以外の設計では鉄筋コンクリート造の共同住宅(標準規模:住戸面積80㎡、延べ面積2400㎡、4階建て程度)・ホテル・図書館・学校・公民館と鉄骨造の商業施設の中から一つを選択し設計する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	木造2階建専用住宅の設計図面（エスキース等）の作成		17	非木造建築物の設計図面（配置図、求積表、面積表、1階平面図）の作成		
2	木造2階建専用住宅の設計図面（エスキース等）の作成		18	非木造建築物の設計図面（配置図、求積表、面積表、1階平面図）の作成		
3	木造2階建専用住宅の設計図面（配置図、求積図、面積表、1階平面図、2階平面図）の作成		19	非木造建築物の設計図面（基準階平面図等）の作成		
4	木造2階建専用住宅の設計図面（配置図、求積図、面積表、1階平面図、2階平面図）の作成		20	非木造建築物の設計図面（屋階平面図等）の作成		
5	木造2階建専用住宅の設計図面（立面図、断面図）の作成		21	非木造建築物の設計図面（立面図等）の作成		
6	木造2階建専用住宅の設計図面（矩計図）の作成		22	非木造建築物の設計図面（断面図等）の作成		
7	木造2階建専用住宅の設計図面（1階平面詳細図、階平面詳細図）の作成		23	非木造建築物の設計図面（1階平面詳細図等）の作成		
8	木造2階建専用住宅の設計図面（1階平面詳細図、階平面詳細図）の作成		24	非木造建築物の設計図面（基準階平面詳細図等）の作成		
9	木造2階建専用住宅の設計図面（展開図）		25	非木造建築物の設計図面（断面詳細図等）の作成		
10	木造2階建専用住宅の設計図面（基礎伏図、1階床伏図）の作成		26	非木造建築物の設計図面（大梁、小梁、柱の断面リスト）の作成		
11	木造2階建専用住宅の設計図面（2階床伏図兼1階小屋伏図、2階小屋伏図）の作成		27	非木造建築物の設計図面（各種伏図、各種配筋図）の作成		
12	木造2階建専用住宅の設計図面（各通り軸組図、仕上げ表、表紙）の作成		28	木造2階建兼用住宅の設計図面（1・2階平面図、配置図、立面図、2階床伏図、矩計図）の作成		
13	木造2階建専用住宅の壁量計算書の作成		29	木造2階建兼用住宅の設計図面（1・2階平面図、配置図、立面図、2階床伏図、矩計図）の作成		
14	木造2階建専用住宅の確認申請書の作成		30	木造2階建兼用住宅の設計図面（1・2階平面図、配置図、立面図、2階床伏図、矩計図）の作成		
15	非木造建築物の設計図面（エスキース等）の作成		31	非木造建築物の設計図面（1階平面図兼配置図、2階平面図、立面図、断面図）の作成		
16	非木造建築物の設計図面（エスキース等）の作成		32	非木造建築物の設計図面（1階平面図兼配置図、2階平面図、立面図、断面図）の作成		
⑯ その他		教科書	超入門 建築製図		出版社：	市ヶ谷出版社
		教材	配布資料		著 者：	永井孝保 他
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030102

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築C A D I				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		蜂須賀 亮子	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
JW_CADの基本操作を習得し、基本的な建築設計図を作図する能力を習得する。 基本操作習得後は、効率の良い作図の方法を学び、作図スピードの向上を図る。 図面のトレース能力を高めると共に、データの受け渡しに関する知識も習得する。						
⑬ 授業の概要						
基本的操作方法の練習。 木造住宅等の各種図面を作成。 C A Dソフトにある多くのコマンドを使いこなして作図効率を高める練習をする。 R C造集合住宅図面の作成。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	C A Dの基本的操作1		17	木造2階建専用住宅の設計図面1（各通り軸組図・仕上げ表・表紙）の作成3		
2	C A Dの基本的操作2		18	木造2階建専用住宅の設計図面2（平面図）の作成1		
3	C A Dの基本的操作3		19	木造2階建専用住宅の設計図面2（平面図）の作成2		
4	木造2階建専用住宅の設計図面1（平面図等）の作成1		20	木造2階建専用住宅の設計図面2（平面図）の作成3		
5	木造2階建専用住宅の設計図面1（平面図等）の作成2		21	木造2階建専用住宅の設計図面2（断面図）の作成		
6	木造2階建専用住宅の設計図面1（平面図等）の作成3		22	木造2階建専用住宅の設計図面2（立面図）の作成		
7	木造2階建専用住宅の設計図面1（断面図）の作成1		23	木造2階建専用住宅の設計図面2（矩計図）の作成		
8	木造2階建専用住宅の設計図面1（断面図）の作成2		24	R C造階段図面の作図練習1		
9	木造2階建専用住宅の設計図面1（立面図）の作成1		25	R C造階段図面の作図練習2		
10	木造2階建専用住宅の設計図面1（立面図）の作成2		26	R C造建具詳細図面の作図練習1		
11	木造2階建専用住宅の設計図面1（建具表・建具キープラン）の作成1		27	R C造建具詳細図面の作図練習2		
12	木造2階建専用住宅の設計図面1（建具表・建具キープラン）の作成2		28	R C造集合住宅の設計図面（基準階平面図）の作成1		
13	木造2階建専用住宅の設計図面1（展開図）の作成1		29	R C造集合住宅の設計図面（基準階平面図）の作成2		
14	木造2階建専用住宅の設計図面1（展開図）の作成2		30	R C造集合住宅の設計図面（基準階平面図）の作成3		
15	木造2階建専用住宅の設計図面1（各通り軸組図・仕上げ表・表紙）の作成1		31	R C造集合住宅の設計図面（立面図）の作成1		
16	木造2階建専用住宅の設計図面1（各通り軸組図・仕上げ表・表紙）の作成2		32	R C造集合住宅の設計図面（立面図）の作成2		
⑯ その他		教科書	出版社：			
		教材	著者：			
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030103

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築C A D II				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	54	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		河崎 真樹子		⑧ 実務経験	設計実務経験者	
⑨ 授業形態		演習		⑩ 授業の実施方法	対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
JW_CADやAutoCAD等のCADシステムの応用操作を習得し、建築設計プロジェクトの中でC A Dを利用した設計図作成を統括できる力を習得する。 作図スピード向上を目指し、更にC A Dデータを他のソフトで活用する能力と知識を習得する。						
⑬ 授業の概要						
基本的操作方法を元に、応用操作の習得を目指し、実際の非木造建築物(鉄筋コンクリート造共同住宅(4階建2400㎡程度)・ホテル・図書館・学校、鉄骨造の商業施設等)の各種図面の作成をおこなう。さらに、C A Dシステムの特性を生かした、立体図・日影図等の作図を行う。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	R C造建築物の設計図面課題1（1階平面図等）の作成1		17	S造建築物の設計図面課題2（基準階平面図等）の作成1		
2	R C造建築物の設計図面課題1（1階平面図等）の作成2		18	S造建築物の設計図面課題2（基準階平面図等）の作成2		
3	R C造建築物の設計図面課題1（1階平面図等）の作成3		19	S造建築物の設計図面課題2（基準階平面図等）の作成3		
4	R C造建築物の設計図面課題1（基準階平面図等）の作成1		20	S造建築物の設計図面課題2（立面図等）の作成1		
5	R C造建築物の設計図面課題1（基準階平面図等）の作成2		21	S造建築物の設計図面課題2（立面図等）の作成2		
6	R C造建築物の設計図面課題1（基準階平面図等）の作成3		22	S造建築物の設計図面課題2（断面図等）の作成1		
7	R C造建築物の設計図面課題1（立面図等）の作成1		23	S造建築物の設計図面課題2（断面図等）の作成2		
8	R C造建築物の設計図面課題1（立面図等）の作成2		24	S造建築物の設計図面課題2（立体図・日影図）の作成1		
9	R C造建築物の設計図面課題1（断面図等）の作成1		25	S造建築物の設計図面課題2（立体図・日影図）の作成2		
10	R C造建築物の設計図面課題1（断面図等）の作成2		26	S造建築物の設計図面課題2 図面のまとめ1		
11	R C造建築物の設計図面課題1（立体図・日影図）の作成1		27	S造建築物の設計図面課題2 図面のまとめ2		
12	R C造建築物の設計図面課題1（立体図・日影図）の作成2		28			
13	R C造建築物の設計図面課題1 図面のまとめ		29			
14	S造建築物の設計図面課題2（1階平面図等）の作成1		30			
15	S造建築物の設計図面課題2（1階平面図等）の作成2		31			
16	S造建築物の設計図面課題2（1階平面図等）の作成3		32			
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著者：			
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030104

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築計画				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		日比 優介	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
各種建築物に関する知見を整理し、設計段階（基本設計）における空間計画（特に平面計画）の基礎知識を習得する。 さらに、これらの知識を活用し設計製図に取り組める能力を養っていく。						
⑬ 授業の概要						
空間計画としての必須条件と、人間の生活・行動に関わる基本的な考え方を踏まえ、各種ビルディングタイプ別にその歴史・背景から、全体計画及び細部計画にいたるまでの知識を習得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	計画と設計、居住施設の計画（住様式と住宅の変化）		17	医療施設・福祉施設の計画（高齢化社会と建築計画）		
2	居住施設の計画（一戸建て住宅）		18	医療施設・福祉施設の計画（病院）		
3	居住施設の計画（集合住宅）		19	医療施設・福祉施設の計画（高齢者施設）		
4	居住住宅の計画（細部計画）		20	商業施設の計画（規模計画と経済効果）		
5	学校教育施設の計画（幼稚園・保育所）		21	商業施設の計画（事務所ビル）		
6	学校教育施設の計画（幼稚園・保育所）		22	商業施設の計画（事務所ビル）		
7	学校教育施設の計画（小学校・中学校）		23	商業施設の計画（劇場・音楽ホール）		
8	学校教育施設の計画（小学校・中学校）		24	商業施設の計画（劇場・音楽ホール）		
9	社会教育施設の計画（生活圏とコミュニティ施設）		25	商業施設の計画（劇場・音楽ホール）		
10	社会教育施設の計画（図書館）		26	商業施設の計画（百貨店・スーパーマーケット・駐車場）		
11	社会教育施設の計画（図書館）		27	商業施設の計画（百貨店・スーパーマーケット・駐車場）		
12	社会教育施設の計画（美術館）		28	商業施設の計画（百貨店・スーパーマーケット・駐車場）		
13	社会教育施設の計画（美術館）		29	商業施設の計画（宿泊施設・ホテル）		
14	社会教育施設の計画（コミュニティセンター・公民館）		30	商業施設の計画（宿泊施設・ホテル）		
15	居住施設・学校教育施設・社会教育施設の総まとめ		31	外部空間の計画総まとめ		
16	確認試験		32	確認試験		
⑰ その他		教科書	初学者の建築講座 建築計画	出版社：	市ヶ谷出版社	
		教材	配布資料	著 者：	佐藤考一・五十嵐太郎	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030201

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		計画実践				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	40.5	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)		渡邊 文雄	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
建築計画と建築製図の知識を活かし、より実践的な条件下で、住宅から各種建築物の具体的な間取りや外観等を多角的に検討して行く。実際のエスキース作業を通し、建物の計画立案における各段階に必要な知識と技術を習得させる。						
⑬ 授業の概要						
実戦的問題演習により、総合的に建築計画をまとめて行く。 1. エスキース段階における建物内外の立体的思考をする。 2. デザインのみにとらわれず、構造面にも十分配慮された計画の立案をする。 3. 木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造の各構造の特徴をふまえた計画を立案する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	住宅様式の変遷と住宅平面の類型、住宅における各室の機能と配置・平面計画1	17	鉄筋コンクリート造・鉄骨造の配置・平面・立面・断面計画1			
2	住宅様式の変遷と住宅平面の類型、住宅における各室の機能と配置・平面計画2	18	鉄筋コンクリート造・鉄骨造の配置・平面・立面・断面計画2			
3	木造戸建て住宅の、配置・平面・立面・断面計画1	19	鉄筋コンクリート造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習1			
4	木造戸建て住宅の、配置・平面・立面・断面計画2	20	鉄筋コンクリート造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習2			
5	木造戸建て住宅の、基礎伏せ図・1階床伏せ図の作図法1	21	鉄筋コンクリート造公共建築物等の平面計画とエスキース演習1			
6	木造戸建て住宅の、基礎伏せ図・1階床伏せ図の作図法2	22	鉄筋コンクリート造公共建築物等の平面計画とエスキース演習2			
7	木造戸建て住宅の、2階床伏せ図・小屋伏せ図の作図法1	23	鉄骨造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習1			
8	木造戸建て住宅の、2階床伏せ図・小屋伏せ図の作図法2	24	鉄骨造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習2			
9	木造戸建て住宅各伏せ図の作図演習1	25	鉄骨造公共建築物等の平面計画とエスキース演習1			
10	木造戸建て住宅各伏せ図の作図演習2	26	鉄骨造公共建築物等の平面計画とエスキース演習2			
11	木造戸建て住宅の矩計図の作図法及び演習1	27	総まとめ			
12	木造戸建て住宅の矩計図の作図法及び演習2	28				
13	木造2階建て専用住宅の平面計画とエスキース演習1	29				
14	木造2階建て専用住宅の平面計画とエスキース演習2	30				
15	木造2階建て店舗併用住宅の平面計画とエスキース演習1	31				
16	木造2階建て店舗併用住宅の平面計画とエスキース演習2	32				
⑯ その他		教科書	出版社：			
		教材	著 者：			
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	030202	

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築史				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	22	⑥ 単位数	1
⑦ 担当教員(代表)		澤田 多喜二	⑧ 実務経験			
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
単なる技術の歴史だけではなく、気候風土から政治・社会・宗教にいたるまで建築独自の性格について、日本建築・西洋建築について学び、建築物の特徴やデザイン、建築美について学ぶ。これにより建築技術者としての必要な常識を養い、その基盤に立ってこれからの建築のあり方についての進路を切り開く。						
⑬ 授業の概要						
各時代の代表的な建築物をいくつか具体的に取り上げ、クローズアップしていく。その時代の建築物の特徴・材料・技術(工法)史を捉えることにより、次の時代への考察も併行して行う。建築の変遷の流れと特徴を正しく理解することにより、現代建築学が向かうべき姿勢を学習する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	日本古代の建築(縄文～古墳時代の住居、集落、奈良・平安時代の仏寺建築、神社建築、寝殿造)		17			
2	日本中世の建築(和様、大仏様、禅宗様の特徴、新しい建築様式)		18			
3	日本近世の建築1(城郭建築、書院造、数寄屋風建築、寺院建築)		19			
4	日本近世の建築2(霊廟建築、農家の発達)		20			
5	西洋古代の建築(オリエント、エジプト、ギリシア、ローマ建築の特徴と技術史)		21			
6	西洋中世の建築(初期キリスト教、ビザンチン、ロマネスク、ゴシック建築の特徴と技術史)		22			
7	西洋近世の建築(ルネサンス、バロック、新古典主義建築の特徴と技術史)		23			
8	近代建築史「西洋」(産業革命、造形と芸術、様式の確率、国際建築の発展)		24			
9	近代建築史「日本」(洋風建築、外人技士の活動と日本建築家の育成)		25			
10	近代建築史「戦後」(ポストモダン、耐震建築構造の発展、都市、建築家のあり方とそのニーズ)		26			
11	確認試験		27			
12			28			
13			29			
14			30			
15			31			
16			32			
⑰ その他		教科書	コンパクト版 建築史(日本・西洋)	出版社:	彰国社	
		教材		著者:	「建築史」編集委員会	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030203

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	環境工学				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	1
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)	近藤 幹	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態	講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準					
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑫ 授業の目的・目標					
健康で快適な室内環境を実現するための知識として、建築に求められる環境条件を物理量や感覚評価量を体系的にとらえて学び、それらを建築の設計・計画に応用し、利用できる能力の習得を目標とする。また、地球温暖化対策や資源の有効活用、廃棄物の再利用など環境に配慮した建築のあり方にも指針となるものとする。					
⑬ 授業の概要					
住環境の科学的基礎の学習。室内気候全般、空気環境、熱環境・光環境・音環境について人間との関わりを軸に学ぶ。また、人間の温熱感覚を表す指標やその測定方法、自然環境と建築物の基本的関係についても注目していく。					
⑭ 準備学習・事後学習					
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。					
⑮ 授業計画					
1	環境工学の概論	17			
2	太陽位置と日照	18			
3	日影・日射	19			
4	測光量と採光	20			
5	人工照明	21			
6	色彩の表し方と色彩計画	22			
7	空気汚染と必要換気量	23			
8	自然換気と機械換気	24			
9	伝熱の基本	25			
10	建物全体の熱特性	26			
11	湿り空気と空気線図	27			
12	結露	28			
13	温熱感覚指標	29			
14	気象と都市環境	30			
15	音の性質、音響計画	31			
16	確認試験	32			
⑰ その他		教科書 教材	初学者の建築講座 建築環境工学	出版社：	市ヶ谷出版社
				著 者：	倉 淵 隆
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード 030301

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築設備				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	2
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	54	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)	不破 宏典	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態	講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準					
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑫ 授業の目的・目標					
建築設備の概要を理解させる。建築と設備の関連性について習得させ、建築技術者として、建築設備の知識を育成する。建築設備の用語・方式を理解させる。建築設備全般的な考え方を理解させる。建築技術者として、建築設備の知識を習得する。					
⑬ 授業の概要					
人間生活をより快適でより安全とするための具体的な各種設備（給水・排水・ガス設備・電気設備・空調設備・電気設備等）について、用語から各種方式までを理解し、建築設備への全体的な考え方と適切な方式の選択方法などを学習する。					
⑭ 準備学習・事後学習					
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。					
⑮ 授業計画					
1	建築設備の分類・概論	17	電気設備の概要（役割・構成等）		
2	給排水衛生設備の概要（役割・構成等）	18	受変電・幹線・動力設備1		
3	給水設備（方式の種類と特徴・必要圧力・タンク設置規定・管材と施工方法等）1	19	受変電・幹線・動力設備2		
4	給水設備（方式の種類と特徴・必要圧力・タンク設置規定・管材と施工方法等）2	20	照明・コンセント設備		
5	給湯設備（方式の種類と特徴・給湯温度・管材と施工方法等）	21	電気設備のまとめ		
6	排水設備・通気設備（方式の種類と特徴・排水トラップ・管材と施工方法等）1	22	消火設備（方式の種類と特徴等）		
7	排水設備・通気設備（方式の種類と特徴・排水トラップ・管材と施工方法等）2	23	防災設備（自動火災報知設備）		
8	屋外排水設備（排水枅の種類・方式・施工法等）	24	ガス設備（方式・種類・機器性能等）		
9	排水処理設備（排水処理方法・浄化槽の性能）	25	消防防災設備のまとめ		
10	給排水衛生設備のまとめ	26	建築設備総まとめ		
11	空気調和設備の概要（役割・構成等）	27	確認試験		
12	空気調和設備（室内環境基準・種類・特徴・空調負荷・空調機器等）1	28			
13	空気調和設備（室内環境基準・種類・特徴・空調負荷・空調機器等）2	29			
14	換気設備（方式の種類と特徴・必要換気量の算出等）	30			
15	空調換気設備のまとめ	31			
16	確認試験	32			
⑰ その他	教科書	初学者の建築講座 建築設備		出版社：	市ヶ谷出版社
	教材			著 者：	大塚雅之
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	030401

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		構造力学Ⅰ				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		黒野 順子	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
構造物に外力が作用した場合、構造物を安全かつ経済的に設計するための、構造計算の基礎となる一般原理を習得する。建築技術者として建築物の安全性に関わる非常に重要な建築構造の一分野であることを認識し、構造計画・計算のための基礎知識を習得する。						
⑬ 授業の概要						
力学の入門(力の合成・分解・力のモーメント・反力等)から力のつり合いについて学び、静定ラーメン・静定トラスの応力算定について理解する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	力および荷重の基礎		17	単純梁系ラーメンの応力1		
2	力のモーメント		18	単純梁系ラーメンの応力2		
3	力の合成と分解		19	単純梁系ラーメンの応力3		
4	力の釣り合い		20	単純梁系ラーメンの応力4		
5	反力の求め方1		21	3 ヒンジラーメンの解法1		
6	反力の求め方2		22	3 ヒンジラーメンの解法2		
7	反力の求め方3		23	3 ヒンジラーメンの解法3		
8	反力の求め方4		24	3 ヒンジラーメンの解法4		
9	単純梁の応力1		25	トラスの解法（節点法・切断法）1		
10	単純梁の応力2		26	トラスの解法（節点法・切断法）2		
11	単純梁の応力3		27	トラスの解法（節点法・切断法）3		
12	片持ち梁の応力1		28	トラスの解法（節点法・切断法）4		
13	片持ち梁の応力2		29	トラスの解法（節点法・切断法）5		
14	片持ち梁の応力3		30	トラスの解法（節点法・切断法）6		
15	演習問題と解法		31	演習問題と解法		
16	確認試験		32	確認試験		
⑰ その他		教科書 教材	基礎から学ぶ 建築構造設計 及び 配布資料	出版社：	実教出版	
				著 者：	実教出版編修部	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	030501	

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	構造力学Ⅱ				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)	小牧 友久	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態	講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準					
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑫ 授業の目的・目標					
構造物に外力が作用した場合、構造物を安全かつ経済的に設計するための、構造計算の基礎となる一般原理を習得する。建築技術者として建築物の安全性に関わる非常に重要な建築構造の一分野であることを認識し、構造計画・計算のための基礎知識を習得する。					
⑬ 授業の概要					
構造材料の力学的性質(応力度・ひずみ度・弾性体の性質)を理解し、断面の性質から部材の設計に関する解法を演習問題を複数解きながら学ぶ。					
⑭ 準備学習・事後学習					
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。					
⑮ 授業計画					
1	断面に関する数量（図心）	17			
2	断面に関する数量（断面2次モーメント・断面係数）1	18			
3	断面に関する数量（断面2次モーメント・断面係数）2	19			
4	軸応力度（ひずみ度・ヤング係数）・せん断応力度1	20			
5	軸応力度（ひずみ度・ヤング係数）・せん断応力度2	21			
6	曲げ応力度1	22			
7	曲げ応力度2	23			
8	許容応力度・許容曲げモーメント1	24			
9	許容応力度・許容曲げモーメント2	25			
10	曲げ応力度と軸応力度の組み合わせ	26			
11	座屈・たわみ	27			
12	不静定構造（不静定構造とは・不静定構造の解法）	28			
13	塑性解析（静定構造の崩壊と全塑性モーメント）	29			
14	塑性解析（不静定構造の崩壊と崩壊荷重）	30			
15	演習問題と解法	31			
16	確認試験	32			
⑰ その他	教科書 教材	基礎から学ぶ 建築構造設計 及び 配布資料	出版社：	実教出版	
			著 者：	実教出版編修部	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	030502

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築一般構造				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		細野 耕司	⑧ 実務経験			
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
建築物の概要と構造の種類、構造方式の考え方について理解する。建築設計者・施工者としての必要な構造に関する技術・知識を養う。						
⑬ 授業の概要						
各種躯体（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造・組積造・プレストレスコンクリート造等）の基本的な構法や、各部構法(基礎・屋根・壁・開口部・床・階段・天井・造作と納まり等)を学ぶ。そして、1つの建築物が建っていくまでの流れを理解したり、現存する建築物の構法についても理解を深める。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	導入（目的と目標、学習内容、前提知識）		17	鉄筋コンクリート造（各部の構造）		
2	木構造（木材、木構造の特徴）		18	鉄筋コンクリート造（階段）		
3	木構造（在来工法の基礎、床下換気口）		19	鉄筋コンクリート造（壁式鉄筋コンクリート構造）		
4	木構造（軸組、小屋組、床組）1		20	鉄筋コンクリート造後半まとめ		
5	木構造（軸組、小屋組、床組）2		21	鉄骨造（鋼材の特徴）		
6	木構造（筋交いと耐力壁）1		22	鉄骨造（構造形式）		
7	木構造（筋交いと耐力壁）2		23	鉄骨造（接合）		
8	木構造（階段、継手・仕口、金物）		24	鉄骨造（部材の設計）		
9	木構造（枠組み壁工法）		25	鉄骨造（各部の構造）		
10	木構造まとめ		26	鉄骨造（床板、階段、耐火被覆）		
11	鉄筋コンクリート造（コンクリートと鉄筋）		27	鉄骨造まとめ		
12	鉄筋コンクリート造（特徴、原理、構造形式）1		28	鉄骨鉄筋コンクリート造		
13	鉄筋コンクリート造（特徴、原理、構造形式）2		29	補強コンクリートブロック造・プレストレストコンクリート造		
14	鉄筋コンクリート造（配筋計画）		30	その他構造まとめ		
15	鉄筋コンクリート造前半まとめ		31	建築一般構造総まとめ		
16	確認試験		32	確認試験		
⑯ その他		教科書	図説 やさしい建築一般構造	出版社：	学芸出版社	
		教材		著者：	今村仁美・田中美都	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030601

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築材料				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)		鈴木 樹	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
木造・RC造・S造等の建築設計・施工時に使用される主要材料の製造・性質・種類などの基礎的な知識を習得する。建築実務に携わった際にプロとして対応できる基本的な知識を備えていること。建築材料の知識が、建築設計や施工時にどのように繋がっていくか習得する。						
⑬ 授業の概要						
建築物の具体的使用例等を例示しながら、セメント・コンクリート・金属・木材等の建築物としての主要建築材料や、その他塗料・ガラス・タイル・石材・左官材等の仕上げ材料の基本から応用的な知識までを学ぶ。また、新建材についても取り上げその特徴を分析する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	概要		17			
2	構造材料（木材）1		18			
3	構造材料（木材）2		19			
4	構造材料（鋼材）1		20			
5	構造材料（鋼材）2		21			
6	構造材料（コンクリート）1		22			
7	構造材料（コンクリート）2		23			
8	仕上げ材料（タイル・煉瓦）		24			
9	仕上げ材料（石材・ガラス）		25			
10	仕上げ材料（左官・吹付材）		26			
11	仕上げ材料（プラスチック）		27			
12	仕上げ材料（塗料）		28			
13	仕上げ材料（防水材料）		29			
14	その他の仕上げ材料		30			
15	建築材料総まとめ		31			
16	確認試験		32			
⑰ その他		教科書	初学者の建築講座 建築材料		出版社：市ヶ谷出版社	
		教材			著 者：橘高義典 他	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030701

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築施工				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		渡邊 文雄	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
建築生産をはじめとし、躯体工事、仕上げ工事等の各種工事から1つの現場の流れについて理解し、建築施工者としての必要な施工に関する技術・知識を養う。						
⑬ 授業の概要						
鉄筋コンクリート・鉄骨・木・土工事等の躯体工事の基本的な施工方法や左官・防水・内装等の仕上げ工事の施工方法の知識を学ぶ。そのほか工事の請負契約や請負制度の概略を学ぶ。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	建築生産（設計と施工）1		17	仕上工事（屋根工事）1		
2	建築生産（設計と施工）2		18	仕上工事（屋根工事）2		
3	施工計画（品質管理・材料管理・工程管理・安全管理・工程表の理解）1		19	仕上工事（防水工事）1		
4	施工計画（品質管理・材料管理・工程管理・安全管理・工程表の理解）2		20	仕上工事（防水工事）2		
5	仮設工事・準備工事（共通仮設工事・直接仮設工事・施工機械）1		21	仕上工事（左官工事）1		
6	仮設工事・準備工事（共通仮設工事・直接仮設工事・施工機械）2		22	仕上工事（左官工事）2		
7	土工事・地業・基礎工事1		23	仕上工事（タイル工事・石工事）1		
8	土工事・地業・基礎工事2		24	仕上工事（タイル工事・石工事）2		
9	躯体工事（鉄筋コンクリート工事）1		25	仕上工事（建具工事・ガラス工事）1		
10	躯体工事（鉄筋コンクリート工事）2		26	仕上工事（建具工事・ガラス工事）2		
11	躯体工事（鉄骨造）1		27	仕上工事（内装工事・塗装工事）1		
12	躯体工事（鉄骨造）2		28	仕上工事（内装工事・塗装工事）2		
13	躯体工事（木工事）1		29	仕上工事まとめ1		
14	躯体工事（木工事）2		30	仕上工事まとめ2		
15	躯体工事まとめ		31	建築施工Ⅰ総まとめ		
16	確認試験		32	確認試験		
⑰ その他		教科書 教材	2級建築施工管理技士一次対策テキスト	出版社：	建築資料研究者	
				著 者：	日建学院	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030801

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	施工図				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	2
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	22	⑥ 単位数	1
⑦ 担当教員(代表)	富田 康	⑧ 実務経験			
⑨ 授業形態	講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準					
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑫ 授業の目的・目標					
設計図と施工図の違い、施工図がどのように使われて行くか、その大切さを理解させる。その中で特に現場管理者が中心となって書かなければならないコンクリート躯体図・タイル割り付け図の作成方法、手順を習得し、簡単なコンクリート躯体図・タイル割り付け図が作成出来るような能力を養成する。					
⑬ 授業の概要					
躯体工事施工図(鉄筋コンクリート造・鉄骨造等)および仕上げ工事施工図(タイル割り付け図・木工図・サッシュ図等)の見方・描き方、チェック方法を学ばせ、更に簡単な実務設計図面を使用して、コンクリート躯体図、タイル割り付け図を作成する。					
⑭ 準備学習・事後学習					
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。					
⑮ 授業計画					
1	コンクリート躯体図の作図方法、手順	17			
2	コンクリート躯体図 (基礎)	18			
3	コンクリート躯体図 (一般階)	19			
4	コンクリート躯体図 (最上階)	20			
5	コンクリート躯体図 (階段)	21			
6	タイル割付図 (内装)	22			
7	タイル割付図 (外装)	23			
8	タイル割付図 (建具周り)	24			
9	鉄骨図	25			
10	木工図	26			
11	確認試験	27			
12		28			
13		29			
14		30			
15		31			
16		32			
⑰ その他		教科書	出版社：		
		教材	著 者：		
		配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	030802

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築積算				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	2
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)	二宮 伸吾	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態	講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準					
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑫ 授業の目的・目標					
建築数量積算基準を理解し、工事別の数量拾い出し方法を習得するとともに、実務に際しての基礎的知識の獲得を目的とする。鉄筋コンクリート造を中心とした数量積算の演習を行い、拾い出し方法を習熟することにより、積算内訳表の作成ができることを目標とする。					
⑬ 授業の概要					
建築数量積算基準に基づいた工事別積算数量を算出するために必要な解説を行い、積算方法の習得を目指す。さらに、演習として、実務設計図書を使用しての躯体工事(主に土・型枠・鉄筋・コンクリート工事等)および、仕上げ工事(左官・吹きつけ・木工事等)の拾い出しを行い理解を深め、積算内訳書の作成を行う。					
⑭ 準備学習・事後学習					
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。					
⑮ 授業計画					
1	建築数量積算基準の概要および積算価格の構成についての解説		17		
2	建築数量積算基準の概要および積算価格の構成についての解説		18		
3	土工事積算 解説・演習		19		
4	土工事積算 解説・演習		20		
5	RC造 鉄筋数量(壁) 解説・演習		21		
6	RC造 鉄筋数量(壁) 解説・演習		22		
7	RC造 鉄筋数量(柱・梁) 解説・演習		23		
8	RC造 鉄筋数量(柱・梁) 解説・演習		24		
9	RC造 鉄筋数量(柱・梁) 解説・演習		25		
10	RC造 鉄筋数量(スラブ) 解説・演習		26		
11	RC造 コンクリート・型枠数量 解説・演習		27		
12	RC造 コンクリート・型枠数量 解説・演習		28		
13	RC造 仕上数量(外部) 解説・演習		29		
14	RC造 仕上数量(内部) 解説・演習		30		
15	内訳書作成(まとめ) 解説・演習		31		
16	確認試験		32		
⑰ その他		教科書 教材	積算協会のPCMシリーズ 建築積算	出版社： 著 者：	日本建築積算協会 日本建築積算協会
			電卓		
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード 030803

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築法規Ⅰ				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		河崎 真樹子	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
我が国の建築活動は法律に基づいて行われており、建築基準法は構造・防火・避難・衛生に関する技術基準や、用途・密度・形態など集団秩序の基準を定めている。また、それらを担保する制度や手続きも規定している。本授業ではこの建築基準法を中心に学び、建築業務に必要な法律知識を身につけ、社会の変化に対応できる人材の育成を目指す。						
⑬ 授業の概要						
建築基準法を理解する上で重要な用語の定義について図解等を交えてわかりやすく解説する。また、建築基準法及び建築基準法施行令を基本として、建築物自体の主要な技術基準、都市計画区域等における主要な建築制限、制度規定について、法の基因関係から逐条の解説を実例と併せて解説すると共に法文内容の理解を深めるために演習を行う。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	建築法規の概要・建築基準法の概要1		17	居室の採光1		
2	建築法規の概要・建築基準法の概要2		18	居室の採光2		
3	建築に関する用語の定義1		19	居室の採光3		
4	建築に関する用語の定義2		20	居室の換気、アスベスト規制、シックハウス1		
5	建築に関する用語の定義3		21	居室の換気、アスベスト規制、シックハウス2		
6	建築に関する用語の定義4		22	居室の天井高・床高・階段の寸法等1		
7	面積、高さ等の算定1		23	居室の天井高・床高・階段の寸法等2		
8	面積、高さ等の算定2		24	道路関係1		
9	面積、高さ等の算定3		25	道路関係2		
10	面積、高さ等の算定4		26	用途地域1		
11	建築基準法に関わる手続き1		27	用途地域2		
12	建築基準法に関わる手続き2		28	容積率・建ぺい率1		
13	建築基準法に関わる手続き3		29	容積率・建ぺい率2		
14	建築基準法に関わる手続き4		30	採光・換気・高さ・道路・用途地域・容積まとめ		
15	用語・面積・手続きまとめ		31	建築法規Ⅰ総まとめ		
16	確認試験		32	確認試験		
⑰ その他		教科書	建築基準法関係法令集		出版社：	日建学院
		教材			著 者：	建築資料研究所
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030901

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築法規Ⅱ				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	54	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		二宮 伸吾	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
我が国の建築活動は法律に基づいて行われており、建築基準法は構造・防火・避難・衛生に関する技術基準や、用途・密度・形態など集団秩序の基準を定めている。また、それらを担保する制度や手続きも規定している。本授業ではこの建築基準法を中心に学び、建築業務に必要な法律知識を身につけ、社会の変化に対応できる人材の育成を目指す。						
⑬ 授業の概要						
建築基準法を理解する上で重要な用語の定義について図解等を交えてわかりやすく解説する。また、建築基準法及び建築基準法施行令を基本として、建築物自体の主要な技術基準、都市計画区域等における主要な建築制限、制度規定について、法の基因関係から逐条の解説を実例と併せて解説すると共に法文内容の理解を深めるために演習を行う。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	高さ制限1	17	内装制限1			
2	高さ制限2	18	内装制限2			
3	高さ制限3	19	内装制限3			
4	日影規制1	20	避難施設1			
5	日影規制2	21	避難施設2			
6	日影規制3	22	避難施設3			
7	防火・準防火地域の制限1	23	構造強度1			
8	防火・準防火地域の制限2	24	構造強度2			
9	防火・準防火地域の制限3	25	構造強度3			
10	防火壁等・耐火・準耐火建築物1	26	建築法規Ⅱ総まとめ			
11	防火壁等・耐火・準耐火建築物2	27	確認試験			
12	防火壁等・耐火・準耐火建築物3	28				
13	防火区画1	29				
14	防火区画2	30				
15	防火区画3	31				
16	確認試験	32				
⑰ その他		教科書	建築基準法関係法令集		出版社： 日建学院	
		教材			著 者： 建築資料研究所	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030902

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		施工管理				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)		長屋 充幸	⑧ 実務経験			
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
施工管理上必要な建築学の知識と、建築実務上重要な施工計画・工程管理・品質管理・安全管理の諸事項を習得させる。実務に就いた際に現場施工監督者（管理者）としての必要な知識を備える。						
⑬ 授業の概要						
現場施工の工事完了までの諸事項を、安全管理・工程管理・品質管理面について検討し、実務設計図面を使用してスムーズに工事が進行するように具体的な施工計画書を作成する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	施工計画		17			
2	工程管理		18			
3	品質管理		19			
4	安全管理		20			
5	建設業法		21			
6	労働基準法		22			
7	労働安全衛生法		23			
8	防水工事・屋根工事		24			
9	左官工事・張り石工事		25			
10	タイル工事・金属工事		26			
11	木工事		27			
12	ガラス工事・建具工事		28			
13	塗装工事		29			
14	内装工事・その他工事		30			
15	総合演習		31			
16	確認試験		32			
⑰ その他		教科書	2級建築施工管理技士一次対策テキスト	出版社：	建築資料研究者	
		教材	配布資料	著 者：	日建学院	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	031003

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築 I T I					
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1		
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	1	
⑦ 担当教員(代表)		臼井 あゆみ		⑧ 実務経験			
⑨ 授業形態		実習		⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準							
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。							
⑫ 授業の目的・目標							
ワープロ等のパソコンのリテラシーの習得を目指す。さらにプレゼンテーション、画像処理等のソフトを利用し、建築技術者として業務に必要なパソコン操作や書類作成を行うことができる基礎能力を養う。							
⑬ 授業の概要							
PCの基本操作を学び、実践的演習を行う。また、ワープロ・プレゼンテーションソフトの活用により各種業務の技術を体得する。							
⑭ 準備学習・事後学習							
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。							
⑮ 授業計画							
1	OSの基本操作、ネットワークドライブの利用		17	プレゼンテーションの学習			
2	ビジネス文書の基礎知識、Word基礎、書式設定、編集、保存		18	PowerPoint基礎（スライド作成、編集、効果の設定）			
3	ビジネス文書の基礎知識、Word基礎、書式設定、編集、保存		19	PowerPoint基礎（スライド作成、編集、効果の設定）			
4	ビジネス文書の基礎知識、Word基礎、書式設定、編集、保存		20	建築及びデザインを題材としたグループプレゼンテーション計画			
5	ビジネス文書の基礎知識、Word基礎、書式設定、編集、保存		21	建築及びデザインを題材としたグループプレゼンテーション計画			
6	ビジネス文書の基礎知識、Word基礎、書式設定、編集、保存		22	建築及びデザインを題材としたグループプレゼンテーション計画			
7	Word活用 社外文書の作成		23	建築及びデザインを題材としたグループプレゼンテーション計画			
8	Word活用 社外文書の作成		24	建築及びデザインを題材としたグループプレゼンテーション計画			
9	Word活用 社外文書の作成		25	建築及びデザインを題材としたグループプレゼンテーション計画			
10	Word活用 社外文書の作成		26	プレゼンテーションのポイント、グループリハーサル、調整			
11	Word活用 社外文書の作成		27	プレゼンテーションのポイント、グループリハーサル、調整			
12	社外文書の編集、表の挿入、その他オブジェクト要素の利用		28	プレゼンテーションのポイント、グループリハーサル、調整			
13	社外文書の編集、表の挿入、その他オブジェクト要素の利用		29	プレゼンテーションの実践、評価			
14	社外文書の編集、表の挿入、その他オブジェクト要素の利用		30	プレゼンテーションの実践、評価			
15	社外文書の編集、表の挿入、その他オブジェクト要素の利用		31	プレゼンテーションの反省			
16	社外文書の編集、表の挿入、その他オブジェクト要素の利用		32	PowerPoint拡張機能			
⑰ その他		教科書	30時間でマスター Excel2021		出版社：	実教出版	
		教材	配布資料		著 者：	実教出版編修部	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。					科目コード	031004

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築ⅠⅡⅢ				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	27	⑥ 単位数	0.5
⑦ 担当教員(代表)		臼井 あゆみ		⑧ 実務経験		
⑨ 授業形態		実習		⑩ 授業の実施方法	対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
「建築ⅠⅡⅢ」で習得した知識・技術に加え、表計算等の知識や、画像処理等のソフトを利用し、建築技術者として業務に必要なパソコン操作や書類作成をより高度に行うことができる能力を養う。						
⑬ 授業の概要						
電子データの基本的考え方を学び、標準化・共有化の実践的演習を行う。また、ワープロ・表計算ソフトの活用により見積書、確認申請等の各種建築関係書類の作成技術を体得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	Excel表作成の基礎 書式設定・書式コピー		17	Excel関数 AND、OR		
2	Excel表作成の基礎 書式設定・書式コピー		18	Excel関数 AND、OR		
3	Excel表作成の基礎 書式設定・書式コピー		19	Excel関数 VLOOKUP、HLOOKUP		
4	Excel数式の設定		20	Excel関数 VLOOKUP、HLOOKUP		
5	Excel数式の設定		21	Excel関数 VLOOKUP、HLOOKUP		
6	Excel数式の設定		22	Excel データベース操作		
7	Excel表作成の基礎 SUM関数、AVERAGE関数、		23	Excel データベース操作		
8	Excel表作成の基礎 SUM関数、AVERAGE関数、		24	Excel データベース操作		
9	Excel関数 SUM、AVERAGE		25	Excel テーブル機能の活用		
10	Excel関数 SUM、AVERAGE		26	Excel テーブル機能の活用		
11	Excel関数 RANK.EQ		27	Excel テーブル機能の活用		
12	Excel関数 RANK.EQ		28			
13	Excel各種グラフ作成・編集		29			
14	Excel各種グラフ作成・編集		30			
15	Excel関数 IF		31			
16	Excel関数 IF		32			
⑰ その他		教科書 教材	30時間でマスター Excel2021		出版社：	実教出版
					著 者：	実教出版編修部
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	031005

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		大工実習Ⅰ				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	192	⑥ 単位数	6
⑦ 担当教員(代表)		浅井 あゆ子		⑧ 実務経験	施工実務経験者	
⑨ 授業形態		実習		⑩ 授業の実施方法	対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
実践的な技術を備えた建築技術者を輩出し、育成することが目標となる。ここでは、大工の技法を通し、木造の建築構造・構法を理解する。木造全般を理解することは勿論のこと、特に在来軸組工法に着目し、伝統的な大工技術である規矩術、軸組の仕組、納まりの基本的技術、知識の習得・理解が目的となる。						
⑬ 授業の概要						
大工技術の基本となる、さしがねを利用した継手・仕口加工、木工工作を通じ、規矩術の基本を体得する。その応用として小屋組の縮小模型を制作し、平垂木・桁・棟桁・梁・束の仕組みと納まり等、木造の基本について理解する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	大工道具の調整及び木材・規矩術に関する基本的概要		17	ほぞ穴、継手、仕口の練習（追掛（大栓）継ぎ）		
2	道具の使い方・練習（鑿砥ぎ練習）		18	ほぞ穴、継手、仕口の練習（追掛（大栓）継ぎ）		
3	道具の使い方・練習（墨壺、墨差し）		19	ほぞ穴、継手、仕口の練習（追掛（大栓）継ぎ）		
4	道具の使い方・練習（鋸）		20	6本組木の制作		
5	ほぞ穴、継手、仕口の練習（腰掛けあり継ぎ）		21	小屋組の縮小模型制作「平垂木・桁・棟桁・梁・束の仕組み」		
6	ほぞ穴、継手、仕口の練習（腰掛けあり継ぎ）		22	小屋組の縮小模型制作「平垂木・桁・棟桁・梁・束の仕組み」		
7	ほぞ穴、継手、仕口の練習（腰掛けあり継ぎ）		23	小屋組の縮小模型制作「平垂木・桁・棟桁・梁・束の仕組み」		
8	砥石台の制作		24	2方転び踏み台制作（木取り、墨付け、加工、調整、仕上げ）		
9	砥石台の制作		25	2方転び踏み台制作（木取り、墨付け、加工、調整、仕上げ）		
10	ほぞ穴、継手、仕口の練習（腰掛けかま継ぎ）		26	3級技能士課題制作		
11	ほぞ穴、継手、仕口の練習（腰掛けかま継ぎ）		27	3級技能士課題制作		
12	ほぞ穴、継手、仕口の練習（腰掛けかま継ぎ）		28	3級技能士課題制作		
13	ほぞ穴、継手、仕口の練習（台持ち継ぎ）		29	棒隅の制作（木取り、墨付け、加工、調整、仕上げ）		
14	ほぞ穴、継手、仕口の練習（台持ち継ぎ）		30	棒隅の制作（木取り、墨付け、加工、調整、仕上げ）		
15	ほぞ穴、継手、仕口の練習（台持ち継ぎ）		31	棒隅の制作（木取り、墨付け、加工、調整、仕上げ）		
16	のみ砥ぎ練習、朝顔箱		32	総まとめ		
⑰ その他		教科書	実用図解 大工さしがね術		出版社：	オーム社
		教材			著 者：	中原靖夫
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	031006

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		大工実習Ⅱ				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	222	⑥ 単位数	7
⑦ 担当教員(代表)		平山 繁男	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
実践的な技術を備えた建築技術者を輩出し、育成することが目標となる。ここでは、大工の技法を通し、木造の建築構造・構法を理解する。木造全般を理解することは勿論のこと、特に在来軸組工法に着目し、伝統的な大工技術である規矩術、軸組の仕組、納まりの応用（高度）技術、知識の習得・理解が目的となる。						
⑬ 授業の概要						
基本（大工技術）の習得後、原寸の木造軸組模型の制作（木造2階建等）を行う。ここでは、伏図の理解及び作成から、部材の見積り、選別、木取りを行う。次段階として規矩術の実践的技法を用いて、墨付けから建方（住宅が出来るまでの一連の作業）までを体得する。総仕上げとして、柱建四方転び踏み台を制作する。高度な柱や貫の納まり・加工方法の理解を通じて、木構造全般について理解する。その技法の根本である歴史についても学ぶ。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	木造軸組模型の制作（規矩術及び基本概要）		17	木造軸組模型の制作（調整及び仮組）		
2	木造軸組模型の制作（床・小屋伏図の考え方）		18	木造軸組模型の制作（調整及び仮組）		
3	木造軸組模型の制作（プランニング・設計及び各種伏図の作成）		19	木造軸組模型の制作（調整及び仮組）		
4	木造軸組模型の制作（プランニング・設計及び各種伏図の作成）		20	木造軸組模型の制作（建方、仕上げ）		
5	木造軸組模型の制作（各種伏図をもとにして部材選別及び木取り）		21	木造軸組模型の制作（建方、仕上げ）		
6	木造軸組模型の制作（各種伏図をもとにして部材選別及び木取り）		22	木造軸組模型の制作（建方、仕上げ）		
7	木造軸組模型の制作（検竿（尺）の制作）		23	振れ垂木の製作（規矩術の総まとめ）（図面作成・墨付け・加工・組立・調整・仕上）		
8	木造軸組模型の制作（墨付け）		24	振れ垂木の製作（規矩術の総まとめ）（図面作成・墨付け・加工・組立・調整・仕上）		
9	木造軸組模型の制作（墨付け）		25	振れ垂木の製作（規矩術の総まとめ）（図面作成・墨付け・加工・組立・調整・仕上）		
10	木造軸組模型の制作（墨付け）		26	振れ垂木の製作（規矩術の総まとめ）（図面作成・墨付け・加工・組立・調整・仕上）		
11	木造軸組模型の制作（加工）		27	振れ垂木の製作（規矩術の総まとめ）（図面作成・墨付け・加工・組立・調整・仕上）		
12	木造軸組模型の制作（加工）		28	柱建四方転び踏み台の製作（規矩術の総まとめ）（図面作成・墨付け・加工・組立・調整・仕上）		
13	木造軸組模型の制作（加工）		29	柱建四方転び踏み台の製作（規矩術の総まとめ）（図面作成・墨付け・加工・組立・調整・仕上）		
14	木造軸組模型の制作（加工）		30	柱建四方転び踏み台の製作（規矩術の総まとめ）（図面作成・墨付け・加工・組立・調整・仕上）		
15	木造軸組模型の制作（加工）		31	柱建四方転び踏み台の製作（規矩術の総まとめ）（図面作成・墨付け・加工・組立・調整・仕上）		
16	木造軸組模型の制作（加工）		32	柱建四方転び踏み台の製作（規矩術の総まとめ）（図面作成・墨付け・加工・組立・調整・仕上）		
⑯ その他		教科書	実用図解 大工さしがね術	出版社：	オーム社	
		教材		著 者：	中原靖夫	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	031007

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	リフォーム計画					
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2		
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	54	⑥ 単位数	3	
⑦ 担当教員(代表)	松井 一将		⑧ 実務経験			
⑨ 授業形態	講義		⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
建築物のリフォームに関し、その計画立案のプロセスを習得する。その際に必要となる知識として、建築計画・建築構造・建築施工・建築設備・建築関係法規などの建築学の他に、科学・民法・色彩・心理学等、の様々な分野の基礎知識も習得する。						
⑬ 授業の概要						
住宅を題材に建て主の要望を想定し、その要望を高次元で具体化するプロセスを学習する。敷地条件や既存建物、家族構成などを様々に想定し、その条件の中で、動線に工夫のある間取りやライフスタイルに合わせた間取りを計画する。具体的な事例を通してその企画から設計・見積もり・施工までを総合的に学ぶ。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	リフォームの現状とその目的について		17	敷地・家族構成・予算等の条件設定		
2	リフォームの現状とその目的について		18	敷地・家族構成・予算等の条件設定		
3	水回りについて（キッチン、バス・洗面・トイレ、給湯・ソーラー）		19	敷地・家族構成・予算等の条件設定		
4	水回りについて（キッチン、バス・洗面・トイレ、給湯・ソーラー）		20	リフォーム計画個別調査書作成		
5	水回りについて（キッチン、バス・洗面・トイレ、給湯・ソーラー）		21	リフォーム計画個別調査書作成		
6	内装について（床材、インテリア、建具、防犯・防災）		22	検討図の作成について		
7	内装について（床材、インテリア、建具、防犯・防災）		23	検討図の作成について		
8	内装について（床材、インテリア、建具、防犯・防災）		24	検討図の確認、確定について		
9	内装について（床材、インテリア、建具、防犯・防災）		25	検討図の確認、確定について		
10	内装について（床材、インテリア、建具、防犯・防災）		26	計画図の作成について		
11	外装について（窓まわり、開口部、外壁、屋根材、エクステリア、塗料）		27	確認試験		
12	外装について（窓まわり、開口部、外壁、屋根材、エクステリア、塗料）		28			
13	外装について（窓まわり、開口部、外壁、屋根材、エクステリア、塗料）		29			
14	構造について（断熱材、床下・資材、耐震）		30			
15	構造について（断熱材、床下・資材、耐震）		31			
16	確認試験		32			
⑰ その他	教科書 教材	110のキーワードで学ぶ世界で一番やさしいリフォーム		出版社：	株式会社エクスナレッジ	
				著 者：	田園都市建築家の会	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	031008

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築士演習		
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年 2
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数 22	⑥ 単位数 1
⑦ 担当教員(代表)	長屋 充幸	⑧ 実務経験	
⑨ 授業形態	演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業
⑪ 評価基準			
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
2級建築士試験合格レベルの実力養成と、1級建築士試験に関しても基本問題の演習を通して理解を深め、卒業後の建築士合格を目指す。			
⑬ 授業の概要			
2年間の建築（計画、構造、法規、施工）・設備（エネルギー、給排水、空調、換気）の学習を踏まえ、これらの総合復習・演習を模擬試験と解説という形式で反復練習を行う。また、卒業後の1級建築士の合格を目標とする。			
⑭ 準備学習・事後学習			
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。			
⑮ 授業計画			
1	「計画系」科目の模試及び解説1	17	
2	「法規系」科目の模試及び解説1	18	
3	「構造系」科目の模試及び解説1	19	
4	「施工系」科目の模試及び解説1	20	
5	「計画系」科目の模試及び解説2	21	
6	「法規系」科目の模試及び解説2	22	
7	「構造系」科目の模試及び解説2	23	
8	「施工系」科目の模試及び解説2	24	
9	2級建築士学科全教科模試と解説	25	
10	2級建築士学科全教科模試と解説	26	
11	確認試験	27	
12		28	
13		29	
14		30	
15		31	
16		32	
⑰ その他	教科書	出版社：	
	教材	著者：	
配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 031009

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築測量実験				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	40.5	⑥ 単位数	1
⑦ 担当教員(代表)		長屋 充幸	⑧ 実務経験			
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
一つの建築物を設計し、竣工するまでに必要な様々な建築測量技術を習得する。測量技術がどのように使われるかを知り、正確な計測、計算が出来るような力を養成する。また、一つの建築物が完成するまでに使用される主な構造材料（セメント・骨材・コンクリート・鉄筋等）の基本的な性能を理解する。						
⑬ 授業の概要						
設計前の敷地調査や建築工事現場で使用する主要な測量関係機器の基本的な使用方法を習得する。実際の敷地・建物を想定して、測量機器を用いて実務に即した実習をする。直接、実験材料に触れることによってその性能や特性を学ぶ。セメント・骨材・コンクリート・鉄筋等の物理的性質を学び、それぞれの材料試験を行うことによってその性質・寸法・形状等が要件にかなったものであることを確かめる。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	距離測量の基礎		17	角測量の基礎		
2	距離測量の応用(建物内外部の計測・集計)1		18	角測量の応用(基礎・一般階の墨出し)1		
3	距離測量の応用(建物内外部の計測・集計)2		19	角測量の応用(基礎・一般階の墨出し)2		
4	距離測量の応用(建物内外部の計測・集計)3		20	角測量の応用(基礎・一般階の墨出し)3		
5	距離測量のまとめ		21	角測量のまとめ		
6	高低測量の基礎		22	コンクリート試験の概要		
7	高低測量の応用(定規の取り扱い等)1		23	コンクリート調合設計		
8	高低測量の応用(定規の取り扱い等)2		24	コンクリートスランプ試験・空気量試験		
9	高低測量の応用(定規の取り扱い等)3		25	コンクリート圧縮試験・鉄筋引張試験		
10	高低測量のまとめ		26	コンクリートのまとめ		
11	平板測量の基礎		27	総まとめ		
12	平板測量と距離測量の応用(土地面積計測・計算)1		28			
13	平板測量と距離測量の応用(土地面積計測・計算)2		29			
14	平板測量と距離測量の応用(土地面積計測・計算)3		30			
15	平板測量のまとめ		31			
16	距離測量・高低測量・平板測量のまとめ		32			
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著 者：			
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	031010

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	大工総合演習					
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2		
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	30	⑥ 単位数	2	
⑦ 担当教員(代表)	松井 一将		⑧ 実務経験			
⑨ 授業形態	演習		⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
大工技能士学科試験合格レベルの実力を養成するとともに、大工実習で身につけた内容についての理解を深める。						
⑬ 授業の概要						
講義にて技能士試験に関する範囲を理解させ、模試および解説にて試験対策を行う。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	専門用語の確認・復習		17			
2	技能士試験に関するガイダンス		18			
3	規矩術、道具の名称および使用上の注意		19			
4	模擬試験① 解説		20			
5	模擬試験② 解説		21			
6			22			
7			23			
8			24			
9			25			
10			26			
11			27			
12			28			
13			29			
14			30			
15			31			
16			32			
⑰ その他		教科書	実用図解 大工さしがね術	出版社：	オーム社	
		教材	配布資料	著者：	中原 靖夫	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	031011

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	キャリア演習				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)	辻 喜博	⑧ 実務経験			
⑨ 授業形態	演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準					
演習授業内試験を100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑫ 授業の目的・目標					
将来のキャリアを形成していくために必要な、社会人としての基礎学力の理解と就職試験対策を目標とする。					
⑬ 授業の概要					
基礎学力の理解：(国語・数学・社会)の基礎問題を復習し理解する。 就職試験の基礎問題（SPI言語・非言語・一般教養）の理解を図る。					
⑭ 準備学習・事後学習					
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。					
⑮ 授業計画					
1	国語 ①漢字・語句	17	SPI問題 一般教養 日本国憲法、国会、内閣1		
2	国語 ②同訓異字・同音異義語	18	SPI問題 一般教養 日本国憲法、国会、内閣2		
3	国語 ③敬語	19	SPI問題 一般教養 裁判所、国際連合1		
4	国語 ④紛らわしい品詞	20	SPI問題 一般教養 裁判所、国際連合2		
5	社会 ①世界の地域構成	21	SPI問題 一般教養 一般常識1		
6	社会 ②日本の地域構成	22	SPI問題 一般教養 一般常識2		
7	社会 ③現代社会の特色	23	SPI問題 言語基礎 二語の対応関係1		
8	数学 ①四則演算、正と負の数	24	SPI問題 言語基礎 二語の対応関係2		
9	数学 ②式の計算	25	SPI問題 言語基礎 語句の用法1		
10	数学 ③式の展開	26	SPI問題 言語基礎 語句の用法2		
11	数学 ④因数分解	27	SPI問題 言語基礎 熟語の意味、成り立ち1		
12	数学 ⑤データの整理・確率	28	SPI問題 言語基礎 熟語の意味、成り立ち2		
13	数学 ⑥平面・空間図形	29	SPI問題 言語基礎 難読語 四字熟語 ことわざ1		
14	数学 ⑦順列・組み合わせ	30	SPI問題 言語基礎 難読語 四字熟語 ことわざ2		
15	総まとめ	31	総まとめ		
16	確認試験	32	確認試験		
⑰ その他		教科書 教材	出版社：		
			著 者：		
		配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	031101